

いよいよ「千里フェスタ」がスタートします。私は、千里高校最大の行事だと思っています。体育祭、文化祭、研修旅行、入学式、卒業式など、大きな学校行事はいろいろありますが、他の学校でも形は違いますが、これらの行事は必ず実施されています。でも生徒の皆さんの課題研究の発表を行っている学校は、増えてはいますが、まだそれほど多くありません。そして一部の生徒ではなく、総合科学科、国際文化科2年生全員が発表する学校は、日本広しといえども、あまりありません。2月10日の一般公開日には、札幌や横浜の高校の先生方が、皆さんの発表を聞きに来られます。大いに誇れる取組みだと思います。

2年生の初めから、自分で課題を決め、チームで取り組み、先生や大学の教授、院生、企業の方などのサポートを受けながら、中間発表で厳しい指摘を受け、さらにブラッシュアップして、聞く人に理解してもらえるよう、工夫して発表を行う。発表後には、臨機応変に質問に答える。皆さんがこれから、次の学校に進んだとき、あるいは社会に出たときに、必ず必要となる力です。私は、固く信じています。ただ、ここに至る道のりは、決して順風満帆ではなかったと思います。意見が合わなかったこと、研究が思うように進まなかったこと、時間が足りなかったことなど、いろいろな困難があったことでしょう。いつも言っていることですが、人・物・金・時間には、限りがあります。これらの資源（リソース）が、潤沢にあった時代は、とっくの昔に終わっています。今は、そしてこれからは、限られた資源の中で、どれだけのパフォーマンスを示すことができるかが、求められます。このことが、持続可能な社会を築く上で、必要の力だと思います。その意味で、2年生の皆さんが取り組んでくれたこの1年は、きっと今後の皆さんを支えてくれることでしょう。

1年生の皆さん、この2年生の姿は、1年後の皆さんの姿です。先輩の発表を見て、「すごいなあ。」「私には無理。」「私には無理。」「私には無理。」「なぜ、そうなるのだろう。」「私ならこうする。」などの疑問や意見を持ち、それを先輩にぶつけてください。優れた質問者が、優れた発表者を育てるのです。そして、自分が取り組みたい課題を見つけてください。4月から、もう課題研究は、始まるのですから。

ただ、インフルエンザには、いつも以上に気を付けてください。2月10日には、保護者の皆さんをはじめ、とても多くの方が来られます。おそらくどの会場も一杯になることでしょう。人込みの中では、マスクなどの予防を心がけてください。万が一インフルエンザにかかってしまったら、たとえ発表に当たっていたとしても、仲間を信じて「休む勇気」も時には必要です。

ここにいる全員で、「千里フェスタ」を大いに盛り上げていきましょう！